

落語中興の祖・三遊亭圓朝ゆかりの「幽霊画展」、東京・谷中で開催 (8/1～)。『昭和元禄落語心中』作者・落語家を迎えたイベントも



東京谷中にある全生庵(臨済宗国泰寺派、住職：平井正修)では、2019年8月1日(木)より31日(土)まで、谷中圓朝まつり「幽霊画展」を開催します。

▷ 「幽霊画展」特設ウェブサイト <https://www.yureiga.com>

江戸末期から明治にかけて活躍し、「牡丹燈籠」「真景累ヶ淵」「死神」など、多くの名作落語を創作した落語中興の祖・三遊亭圓朝は、怪談創作の参考に数多くの幽霊画を収集していました。伝・円山応挙というものから、柴田是真、伊藤晴雨、河鍋暁斎など、著名な画家たちが描いたさまざまな幽霊たち。現在は、圓朝の墓所がある全生庵でこれらのユニークな幽霊画を所蔵しており、毎年8月の1ヶ月間のみ特別公開しています。

今年は、「幽霊の怨返し—落語にみる情愛」と題した記念イベントも開催します(8月3日(土))。ゲストに昨年NHKでドラマ化された大人気漫画「昭和元禄落語心中」の作者・雲田はるこさん、落語家・金原亭馬玉さんをお迎えし、三遊亭圓朝がこれほどまでの幽霊画をコレクションしていた理由や、なぜ落語には幽霊がよく登場するのか、といったことを通して、人々が「幽霊」に見た意味と、そこから受け取ることができる「生」への学びを考えます。また、金原亭馬玉さんによる怪談落語「死神」、平井住職による幽霊画解説も行います。

8月は「谷中圓朝まつり」として、全生庵で多くのイベントが開催されます。この機会に是非お越しください。

※宣材のDLはこちら>> <https://bit.ly/2IRjrc9>

「幽霊画」の画像は本展及び開催記念イベントの広報を目的とする場合のみに使用いただけます。予めご了承ください。

企画・運営：有限会社エピファニーワークス URL：www.epiphanyworks.net

EPIPHANY WORKS

《本件へのお問い合わせ》

情報掲載、取材・インタビュー依頼、ご不明点などございましたらお気軽にお問い合わせください。

PR 担当：株式会社Casokdo 五十嵐 洋・篠原 礼子

E-mail：igarashi@a-ms2.com / shinohara@a-ms2.com CEL：090-3535-9012 FAX：03-5436-7637

谷中圓朝まつり 幽霊画展

開催概要

会 期：2019年8月1日(木)～2019年8月31日(土)

※土日祝祭日も開催

開館時間：10：00～17：00（最終入場16：30）

拝 観 料：500円



左から、伊藤晴雨「怪談乳房覆図」、池田綾岡「血屋敷」、齋藤英明「蚊帳の前の幽霊」。トップイメージは、伝・円山応挙「幽霊図」。すべて全生庵所蔵。

開催記念イベント

「幽霊の怨返し ― 落語にみる情愛 ―

開催日時：2019年8月3日（土） 16：00～18：00（開場15：30）

※イベント参加者はトークセッション後にも幽霊画展をご覧ください。

定員：100名（事前申込み制）

参加費：3,000円（幽霊画展拝観料込）

プログラム：◎住職による幽霊画展解説

◎第一部 ゲストと全生庵住職によるトークセッション

◎第二部 金原亭馬玉による怪談落語「死神」

★『昭和元禄落語心中』コミックス販売＆雲田はるこサイン会も開催予定（詳しくは、後日特設ウェブサイト等で発表します）

定員：100名（事前申込み制）

参加費：3,000円（幽霊画展拝観料込）

お申込み方法：

▷「幽霊画展」特設ウェブサイト <https://www.yureiga.com> からPeatix(ピーティックス)を通じてお申込みください。

申込み締切：2019年7月19日（金）

※管理の都合上、全生庵での直接のお申込み、お支払いは受け付けておりませんのでご了承ください。

※定員に達し次第、締め切りとさせていただきます。

主催：臨済宗国泰寺派 全生庵

企画・運営：有限会社エピファニーワークス

※宣材のDLはこちら>> <https://bit.ly/2IRrjc9>

「幽霊画」の画像は本展及び開催記念イベントの広報を目的とする場合のみに使用いただけます。予めご了承ください。

企画・運営：有限会社エピファニーワークス URL：www.epiphanyworks.net

 EPIPHANY WORKS

《本件へのお問い合わせ》

情報掲載、取材・インタビュー依頼、ご不明点などございましたらお気軽にお問い合わせください。

PR 担当：株式会社Casokdo 五十嵐 洋・篠原 礼子

E-mail：igarashi@a-ms2.com / shinohara@a-ms2.com CEL：090-3535-9012 FAX：03-5436-7637

開催記念イベント 出演者プロフィール

ゲスト

雲田はるこ（漫画家）

2008年「窓辺の君」でデビュー。昭和落語界を舞台に、師弟関係や親友の死、恋人との別れなど、芸の道で生きる人々の因縁を描いたマンガ「昭和元禄落語心中」が、第38回講談社漫画賞一般部門、第18回文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞、第21回手塚治虫文化賞新生賞を受賞。同作は2016年にテレビアニメ化、2018年にはNHKでテレビドラマ化された。



金原亨馬玉（落語家）

1978年生れ
2000年 11代目金原亨馬生に入門
前座で「駒介」
2003年 二つ目に昇進「馬吉」に改名
2015年 真打ちに昇進
2代目馬玉を襲名



聞き手

平井正修（全生庵 七世住職）

臨済宗国泰寺派全生庵住職
1967年生れ 東京都出身
1990年 学習院大学法学部卒
1990年 静岡県三島市龍澤寺専門道場入山
2001年 同 下山
2003年 全生庵第七世住職就任
2016年 日本大学危機管理学部客員教授就任
2018年 大学院大学至善館特任教授就任

現在、安倍首相や中曽根元首相などの政界・財界人が多く参禅する全生庵にて、坐禅会や写経会など布教に努めている。

「最後のサムライ山岡鉄舟」（教育評論社）、「坐禅のすすめ」（幻冬舎）、「安心を得る」（徳間文庫）、「禅がすすめる力の抜き方」（三笠書房・知的生きかた文庫）のなど著書多数



全生庵（台東区谷中5-4-7）

山岡鉄舟居士が明治維新の際に国事に殉じた人々の菩提を弔うため、明治十六年に建立。居士との縁で落語家・初代三遊亭圓朝の墓所があり、圓朝遺愛の幽霊画五十幅が所蔵されている。



※宣材のDLはこちら>> <https://bit.ly/2IRrjc9>

「幽霊画」の画像は本展及び開催記念イベントの広報を目的とする場合のみに使用いただけます。予めご了承ください。

企画・運営：有限会社エピファニーワークス URL：www.epiphanyworks.net

 EPIPHANY WORKS

《本件へのお問い合わせ》

情報掲載、取材・インタビュー依頼、ご不明点などございましたらお気軽にお問い合わせください。

PR 担当：株式会社Casokdo 五十嵐 洋・篠原 礼子

E-mail：igarashi@a-ms2.com / shinohara@a-ms2.com CEL：090-3535-9012 FAX：03-5436-7637